

ちくご子どもキャンパス

矢部川中流域の自然観察と

体験2009と

水と緑と命の つどい2009

私たち、「まちづくりネットワークちくご」は、人々が集い、憩う、まちづくりの中核となる「筑後広域公園」を活用し、水と緑の自然を体験できる様々な機会(自然体験研修プログラム、各種イベント等)を提供し、公園を市民が積極的に活用することによって、いきいきとした活力のある市民都市をめざすとともに、様々な市民活動団体等との連携による「まちづくり」を進めていきたいと考えています。

その取り組みとして、今年は、7月25～26日に「ちくご子どもキャンパス『矢部川中流域の自然観察と体験2009』」を行う予定でしたが、船小屋中ノ島公園が冠水するほどの豪雨となったため、実施するのは危険と判断し中止しました。しかし、子どもキャンパスを楽しみに参加申込された子どもたちの期待に応えるために、9月26～27日に改めて実施することとし、27日午後2時から、同じ会場で、「いのち」の大切さを訴え、様々な活動を展開されている方々に呼びかけて、「水と緑と命のつどい2009」を行ないます。今回のつどいは、「急性骨髄性白血病」を克服された山口絹江さんと骨髄の提供経験がある長直樹さんの対談と伸びやかな歌声と不登校経験を活かし、歌と話を織り交ぜた講演会やラジオ番組のパーソナリティー等、音楽だけにとらわれない“自分らしい”活動を続ける吉田祥吾さんの素敵な音楽です。

一人でも多くの市民の皆様にお集まりいただき、私たちの活動と福岡県水源の森基金や骨髄バンクへの理解を広めることが、このつどいの目的です。なお、収益は福岡県水源の森基金と九州骨髄バンクへ寄付いたします。

※「ちくご子どもキャンパス『矢部川中流域の自然観察と体験2009』」を、9月26～27日に実施します。

…このキャンパスの最後のまとめとして、キャンパスに参加された子どもたちと一緒に、つどいを楽しみます。

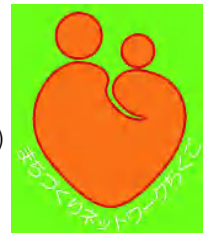
とき **2009年9月27日(日) 14:00～** (13:00開場)

ところ **北長田ふれあい館**

視聴料：無料(入場整理券を発行します。当日会場に募金箱を設置します。ご協力をお願いします。)

出演：吉田 祥吾 / 大石 英雄 / 清水 透(慶応義塾大学教授) / 山口絹江 / 長直樹

主催：NPO法人 まちづくりネットワークちくご



後援：福岡県・筑後市・筑後市教育委員会・筑後市ボランティア連絡協議会・(財) 骨髄移植推進財団・九州骨髄バンク
【予定】 推進連絡会議・ドリームスFM

連絡先：〒833-0017 福岡県筑後市大字志28番地1 まちづくりネットワークちくご 理事長： 鶴 恵子
TEL：0942-52-5111 E-mail：npo.chikugo@gmail.com

「ちくご子どもキャンパス『矢部川中流域の自然観察と体験 2009』

● 日程概要 ●

1日目<9/26(土)>

9:30 受付
10:00 集合
オリエンテーション / 企画の説明と諸注意 / 参加者顔合わせ・自己紹介…仲良くなろう!! / 「いのち」のお話
12:00 昼食 持ってきたお弁当と一緒に食べよう!!
13:30 中ノ島公園散策 鉱泉の試飲 / 大楠林の散策 / 水辺の生物観察 / 川遊び 等
17:00 夕食準備 カレーライス作り
18:00 夕食
19:30 夜の自然観察 / 夜の生き物観察 / 夜行性の鳥・動物などを観察
21:00 報告会 日記
21:30 就寝

2日目<9/27(日)>

6:00 起床
6:30 朝の自然観察① / 早朝の鳥や昆虫の様子を観察
7:30 朝食
9:00 思い出作り / 川原の石を使ってペインティング
朝の自然観察② / 日中の動植物観察
12:00 昼食 そうめん流し
13:30 体験報告 体験発表
14:00 まとめ「水と緑と命のつどい2009」「いのち」の大切さのメッセージソングを楽しもう!!

※ 都合により内容を変更する場合があります。ご了承ください。

出演者紹介



吉田 祥吾

1979 年、佐賀県鳥栖市で生まれる。幼少時代から人見知りが激しく十二指腸潰瘍をきっかけに登園拒否を始め、小、中学校まで不登校。その後、自分の心の整理と心の表現ができる音楽に出逢う。なにより心許せる“信頼”と“愛情を”与えてくれる人達に出逢い現在の活動に至る。1999 年、「空～ooo～」を結成し路上ライブを中心に活動するがメンバーの脱退により解散。そんな中、自然と新しい曲が生まれ、心が軽くなる。音楽で苦しみ、音楽で救われたことにより「吉田祥吾」として音楽活動を続けていくことを決意。2004 年、「会いたい」で沖縄普久原楽器 7 月ランキング最高 3 位。そして NHK 福岡放送「福岡いちばん星」にインディーズミュージシャンでは初の出演を果たし、久留米聖マリア病院内教会ではシンガーソングライターとしては“110 年という歴史の中で初めて”の教会ライブを実現。2005 年、“生まれてきたこと、それは何よりも素晴らしいプレゼント”をキーワードに等身大の自分を表現した「HAPPY BIRTHDAY」を発売。現在は不登校経験を活かし、歌と話を織り交ぜた講演会やラジオ番組のパーソナリティー等、音楽だけにとらわれない“自分らしい”活動を目指している

大石 英雄



1955 年筑後市生まれ、高校 2 年の時にはじめてギターを手にして以来フォークソングに惹かれていった。その後、ロック、ブルース、ブルグラス、ジャズ、レゲエ、パロック等様々な音楽に興味を持つが、本格派志向でコマーシャリズムやメジャー路線とは一線を画したミュージシャンを良く聞き、他人からはマニアックと言われつつも、本人は『売れる音楽が良い音楽とは限らない(特に日本では)』といたって気にしてはいない。21 歳の時、障害を持つ人たちの詞に曲をつけてメッセージを伝える『全国縦断わたぼうしコンサート』に参加。帰筑後ボランティア活動を始め現在の仕事へつながる。笠木透とフォークスのコンサート企画をきっかけにフォークソングチーム『マウンテンゴリラ』に参加し現在にいたる。グループやソロで年間 20 回程のコンサートを楽しんでいる。